

佛心

二〇一八年十二月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺



さびしいとき

先日、日本の友人（お坊さん）から彼が作った法話が届けられました。その法話の最後には金子みすゞさんの詩が使われていたのですが、私自身も彼女の詩が大好きで本も日本から着任する際に持ってきたものです。彼女は500以上の詩を残されていきましたが、その中でも「さびしいとき」という詩が私のこころに強く残っています。

『さびしいとき』

私がさびしいときに よその人は知らないの
私がさびしいときに お友だちは笑うの
私がさびしいときに お母さんはやさしいの
私がさびしいときに 仏さまはさびしいの

四行で書かれているとてもシンプルな詩ですが、なにか強く訴えかけてくるものがあります。

「私がさびしいときに よその人は知らないの」。私がいくら苦しみさびしい想いをしても私のことを何の気も止めない人は知らん顔です。

「私がさびしいときに お友だちは笑うの」。ここでも「お友だちは笑うの」とは、私を元気づけようと笑わせてくれるのか、それとも「何をそんな小さなことで落ち込んでいるんだ。」と嘲笑うかのような笑いなのか。

私には後者の少し後ろ向きな意味合いに思えてしまいます。

私事ですが小学校四年生のときに友人から嫌がらせを受けた事があります。学校から帰る時には私のランドセルだけがなくなっており、校庭のグラウンドにそれが落ちていた。砂埃になったランドセルを拾って一人トボトボと帰る。すると一月前まで仲良く遊んでいた友人らが、そんな私の姿をみてニヤニヤと笑ってくる。「私がさびしいときは、ともだちは笑うの」

いま考えてみれば、遠い昔のことです。悩みみであったように思えます。ただ当時8歳だった私にとつては大変つらいものでした。そして家に帰ると、母親が「今日の学校はどうやった？」と尋ねてくるのです。

私は自分がつらい思いをしていると素直に言えなかったの。「楽しかったよ」と笑顔で答える。すると母親は「そうか。何かあったらいつでも言いなさいね。」と優しい一言かけてくれたのでした。しかし何処にも吐き出し口の無かった私は、ある日、家の中で母親に対して汚い言葉を吐いてしまったことがあります。

すると、それを見兼ねた祖母が阿弥陀如来像のある本堂へ私の手を引っ張って連れて行くのです。当時の私は暗い夜の本堂が恐ろしくてたまりませんでした。そんな怖い所で怒られるのかなと思えば、祖母はただ私と一緒に阿弥陀如来に背中を向けて本堂の目の前にある細い旧道を眺めているだけでした。

30分ぐらい経ってでしょうか、私の気持ちも落ち着いてくると祖母は、「一緒にナンマンダブ称えようか」と言って、今度は仏様に顔を

向けて一緒に合掌をしてくれました。

そしてまた私の手をしっかりと握りしめて母親の待つところへ帰るのでした。そのとき祖母は、暗く足下の冷える廊下で「あんたが悲しいときは、この婆ちゃんも悲しい、そして仏さまも悲しんで下さっている。だから悲しいときは悲しんぢよべばいい。辛いときはつらいって思っちゃべばいい。」との言葉を投げかけてくれたのを今でも思い出します。

そして、私が母親に謝ったとき彼女も「なにか辛い目にあっちゃったら今度は母さんと一緒にナンマンダブ称えよう。」と言ってくれました。あの祖母の握ってくれたあたたかな手の温もり、母親の優しい一言は当時の私の全てを包んでくれるようでした。

このような「仏さまが常に一緒にいて下さっている。」という気持ちは一朝夕で培われるものではないと思います。毎朝、お仏壇に向かって家族揃って手を合わせ、ご飯をいただく際にも必ず家族揃って合掌する。朝を迎えられたこと、仏事が出来ること、おいしいご飯と一緒にいただけること、全てにこの手を合わせ、もったいないことであると噛み締られる非日常が日常にあったからこそこの優しい言葉であったと思います。

それもすべて常に私たちに大慈悲のおこころで「辛からうなあ、悲しいなあ」と側にいてくれる阿弥陀如来のおはたらきが祖母にも母にもそして当時の私にも届いておったからです。そのみ教えの中で共に暮らし共に合掌できていた日々は、私に決して一人ではないと教えてくれるものがありました。嬉しいとき喜ばしいときだけでなく、つらいときも悲しいときも側にしてくれる南無阿弥陀仏がある事を、忝かたじけなくも頂戴させていただきます

合掌「南無阿弥陀仏」

駐在開教使 大内祐真

「自分探し」に惑わされない

「自分探し」という言葉は、いつごろから使われだしたのでしょうか。少なくとも、私の若いころには使わなかったように思います。

この言葉には、「今の自分はほんとの自分ではない」という焦りに似た思いと、「どこかにもっと素晴らしいほんとうの自分があるはずだ」という願望とが込められているのではないかと感じます。しかし、探して見つかるような「自分」が、今の自分のほかにあるのでしょうか。「自分」とは、何かに取り組んで成長し、人生を充実させていく課程そのものではないかと思えます。焦って「今」を否定したり、「今」以外のどこかに「自分」を探し迷うより、「今」にしっかりと向き合うことが大切なのです。

「自分探し」という言葉が出てきた理由は、社会や親から「自分らしさを持つ」「自分の個性を出せ」と言われつけ、そうしたプレッシャーになんとか応じなければとする若い人の反応なのかもしれません。しかし、「自分の個性を出せ」と言う同じ口で、親も社会も「目立つことをするとみんなから嫌われるからよしなさい」と没個性を要求するのですから矛盾しています。

ある小学校で、「みんなちがって、みんないい。」という金子みすゞさんの詩の言葉を各クラスに貼るようになりました。それぞれの個性を尊重しましょうというわけです。ところが、どのクラスでも、教室の同じ場所、同じ位置に、その詩は貼ってあったそうです。みんな

違ってみんないいのなら、それぞれ好きなところに貼ればよきそうなものなのに、どの教室も寸分違わない場所に貼ってあったというのです。

私はこの記事を読んで、思わず笑ってしまいました。その学校では、「みんなちがって、みんないい。」と、いかにも生徒たち一人ひとりの個性を認めるかのようなふりをして、実際にやっているのは、「詩はここに貼りなさい」と型にはめることだったからです。

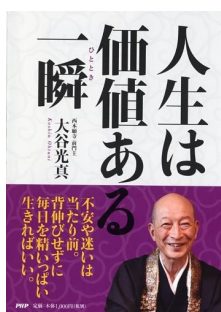
「自分」などというものは常に流動的で、今の自分はこうだと言っても、次の日はまた違った面が出てきてもおかしくありません。「自分はこうだ」とあまり固定的にとらえず、また、「自分探し」などという言葉に影響されずに生きたほうが良いように思います。

浄土真宗本願寺派 西本願寺

前門主 大谷光真

『人生は価値ある一瞬』

PHP研究所より

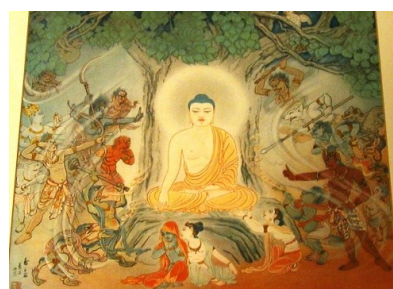


成道会

十二月九日(日)

午前十一時より

あらゆる修行の末に、悟りに近づくことが出来ないと感じたシッダルタは、スジャータの乳粥の供養を受け入れ、尼連禪河で体を清めた後、悟りを開くまではその場を離れないという誓いのもとで菩提樹の木の下で瞑想に入られました。十二月八日の暁、ついに悟りを開き、釈迦牟尼仏陀(真理を覚える者の意)となれました。



除夜の鐘



本年度の除夜の鐘も、恒例のオンタリオ・プレイスではなく、**トロント仏教会**(建物内)で行うことになりました。開門は午後10時半です。どなた様もご参拝下さい。

二〇一八年十二月三二日(月) 午前十一時 除夜会

午後十一時三〇分 除夜の鐘

二〇一九年 一月 一日(火) 午前十一時 元旦会

午後一時 元旦会

トロント仏教会餅作り

トロント本願寺では今年も餅つきを開催します。今年も例年通り360kg以上の餅米をお餅にします！皆様の協力添えをどうぞよろしくお願いいたします。ボランティアに来てくださった方には、昼食と小餅セット(子どもには6個入りセット)をプレゼントします。

*餅購入で募りました寄付金はすべてお寺の維持費となります。

日時：米洗い 12月28日 午後1時～ 場所：トロント本願寺ソーシャルホール（地下）
餅作り 12月29日 午前9時～ 1011 Sheppard Ave. W., Toronto, ON M3H 2T7

鏡餅	\$ 4.50
小餅／B a g	\$ 4.00

お餅購入の事前申し込み

電話：(416)534-4302

Eメール：tbc@tbc.on.ca

申し込み用紙は、英語版(Guiding Light 面)にございます。

必要事項：名前・連絡先Phone/Email

住所・お餅セット各種の個数と合計金額・
サインとその記日

*事前申し込みは12月21日で締め切らせていただきます。

*餅つき当日の餅販売は12時～3時半までです。

*電話でもお申し込み可能です。



ダーナ婦人会からのお知らせ

使用済み切手の収集

ダーナ婦人会では“Save the Children Fund”のために使用済み切手の収集をしています。切手を切る際は、切手本体より1/4～1/2インチ(約5mmから15mm)離してお切りください。この慈善活動は切手を販売元を買ってもらい、貧困に苦しむ国の子どもの将来のために使われます。使用済み切手をお持ちの方は、お寺のロビーにあります切手収集箱に寄付をお願い致します。

海外通貨の収集

皆様が海外へ行かれた際に使用されなかった海外通貨の収集をトロント仏教会では行っております。またJSBTC(浄土真宗カナダ教団)の婦人会連盟でもこの活動を行っており、この活動で集められた海外通貨はユニセフへ寄付されます。お寺のロビーに専用の箱が備え付けられています。ご協力のほどよろしくお願い致します。



トロント仏教会会計事務からのお知らせ

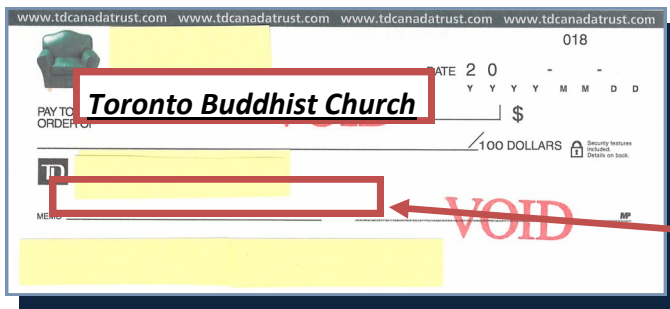
トロント仏教会は、皆様からの支援となる募金・会費・お布施に厚く御礼申し上げます。この度、皆様からの支援につきましてご連絡をさせていただきます。

寺院に小切手として預けられる際、宛名に**Toronto Buddhist Church**の略称として「TBC」もしくは「(Toronto Buddhist Temple)TBT」と記載される方がいます。それらの略称もしくは「Toronto Buddhist Temple」では、銀行との契約関係でお預かりした小切手を募金またはお布施としてお寺に納めることが出来ません。

正式名称である『**Toronto Buddhist Church**』として宛名にお書きになりますよう宜しくお願い致します。また供華や寺報冊子、各会（ダーナ・サンガ・新婦人会）など特定の支援募金をされたい方は、小切手の宛名ではなく**MEMOの欄**にお書きになりますようお願い致します。

これからも念仏繁盛、念仏相続のためとご理解とご協力をいただきますよう、

どうぞよろしくお願い申し上げます。 合掌



供華や寺報冊子、各会（ダーナ・サンガ・新婦人会）など特定の支援募金をされたい方は、**宛名ではなくこのMEMOの欄**にお書きになりますようお願い致します。

報 恩 講

宗祖親鸞聖人のご命日にあたり、聖人のご苦勞を偲び
ご恩徳に報謝する、浄土真宗でもっとも大切な法要です

1 月 1 9 日（土）

午後 5 時 ベジタリアンポットラック夕食

午後 6 時半 報恩講（逮夜法要）

※法要後おぜんざいが振る舞われます

1 月 2 0 日（日）

午前 1 1 時 報恩講（日中法要）

午後 1 時 トロント仏教会年次総会

